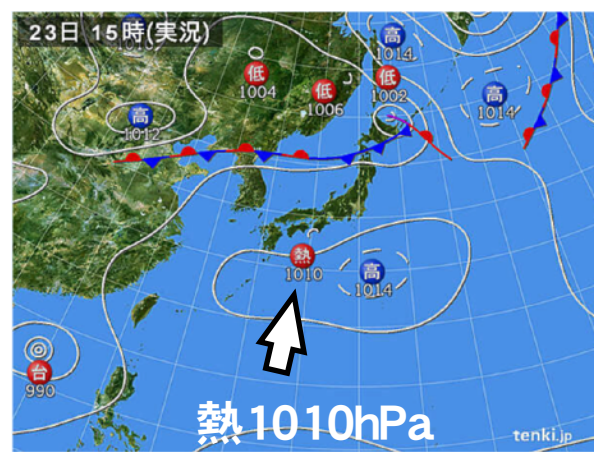
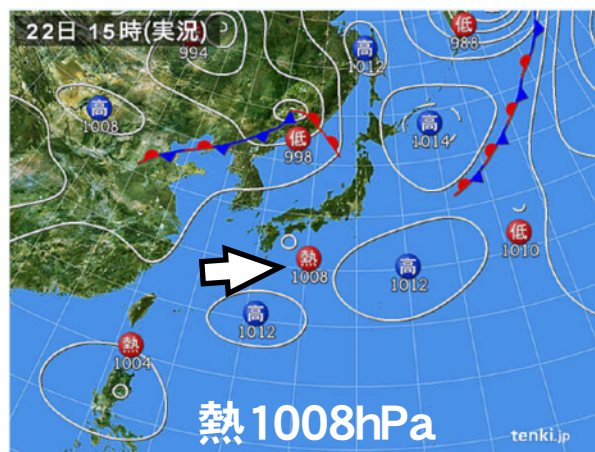
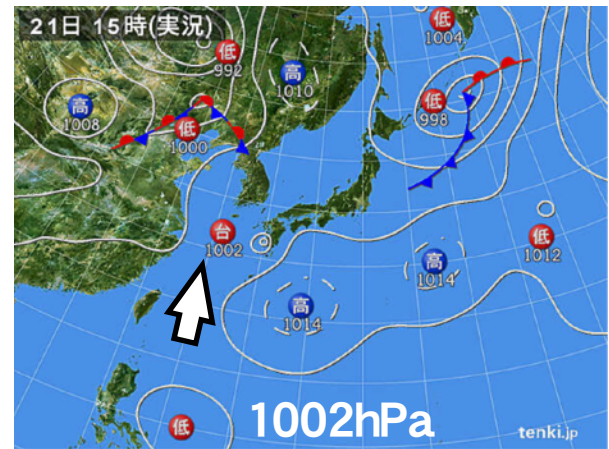
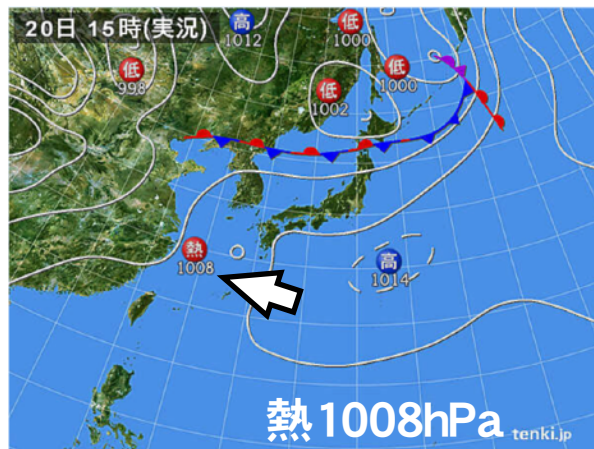
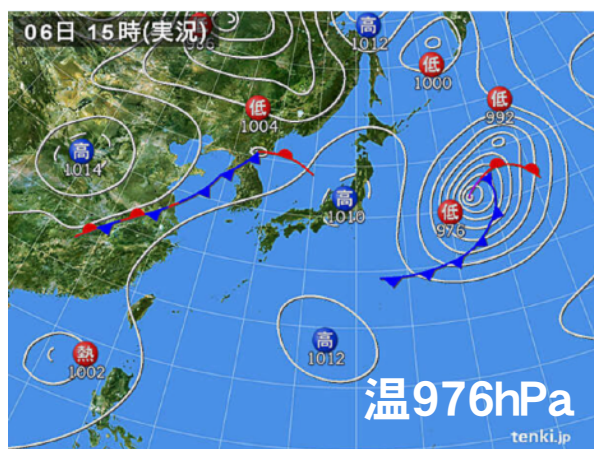
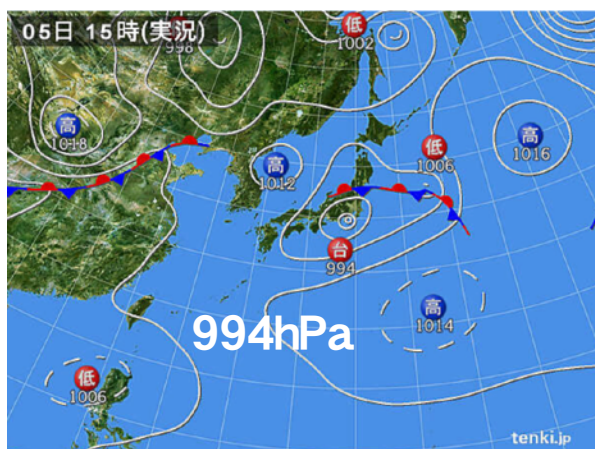
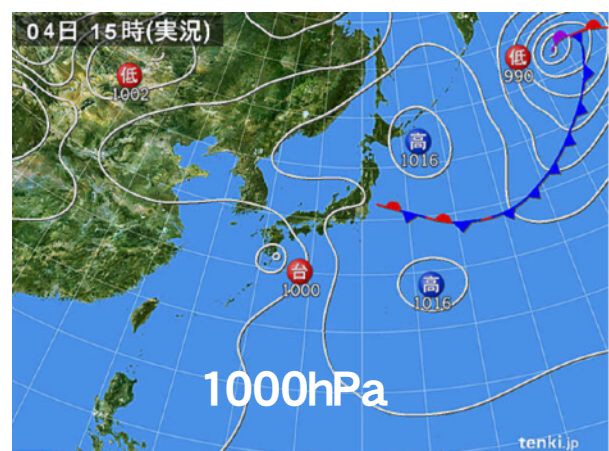
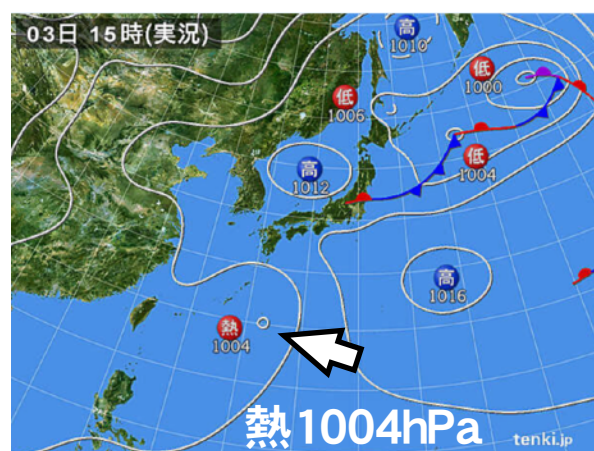
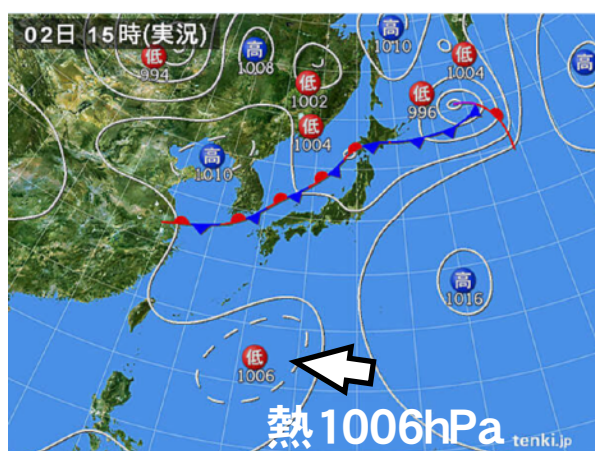


この台風 どんな特徴があるでしょう、Quiz♪⑫

2025年8/21ー8/22 台風12号



2025年 9/04ー9/05 台風15号



基本情報：

台風12号＝レンレン
発生 2025/08/21
北緯31.8度 東経129.4度
消滅 2025/08/22
最低気圧 998hPa (8/21)
最大風速 20m/s

基本情報：

台風15号＝ペイパー
発生 2025/09/04
北緯28.2度 東経130.9度
消滅 2025/09/05
最低気圧 992hPa (9/05)
最大風速 23m/s

2025年の、台風 5・10・12・15号には、今年ならではの共通するある特徴があります。特にこの12・15号に顕著に現れた、ある特徴を考えてみましょう。

答え：

一般的に台風は、南の赤道近くの海上で発生し、発達します。日本の近くに来るほどその勢力が衰え、上陸するとまもなく温帯低気圧（熱帯低気圧）になることが多いのです。

しかし**今年の台風は、日本の近くで勢力を強めたり、発達して台風になる傾向がありました。**

特に12号は、九州に近づく手前の熱帯低気圧の段階で、これ以上発達せず消滅するだろう、と予想されていましたが、突如発達し台風になり、即日九州に上陸しました。警報を発令してから、短時間で上陸し、避難対応が間に合わないほど急でした。
また、15号は、日本上陸通過後に、994hPaから976hPaと更に強い低気圧になるなどの現象が起こっています。

これは今年、(1)偏西風が北上していたため、(2)沖縄～九州～四国～紀伊半島近辺の太平洋の海水温度が高いため、が挙げられます。普通、海水温度が「27度」で海水が多く蒸発し台風が発達すると言われます。が今年は28～30度にも達していて、これが日本近くで熱帯低気圧が勢力を強めたり、台風へ発達している要因と考えられます。

2025年
8月21日

表示

<< < > >>

日本近海 海域

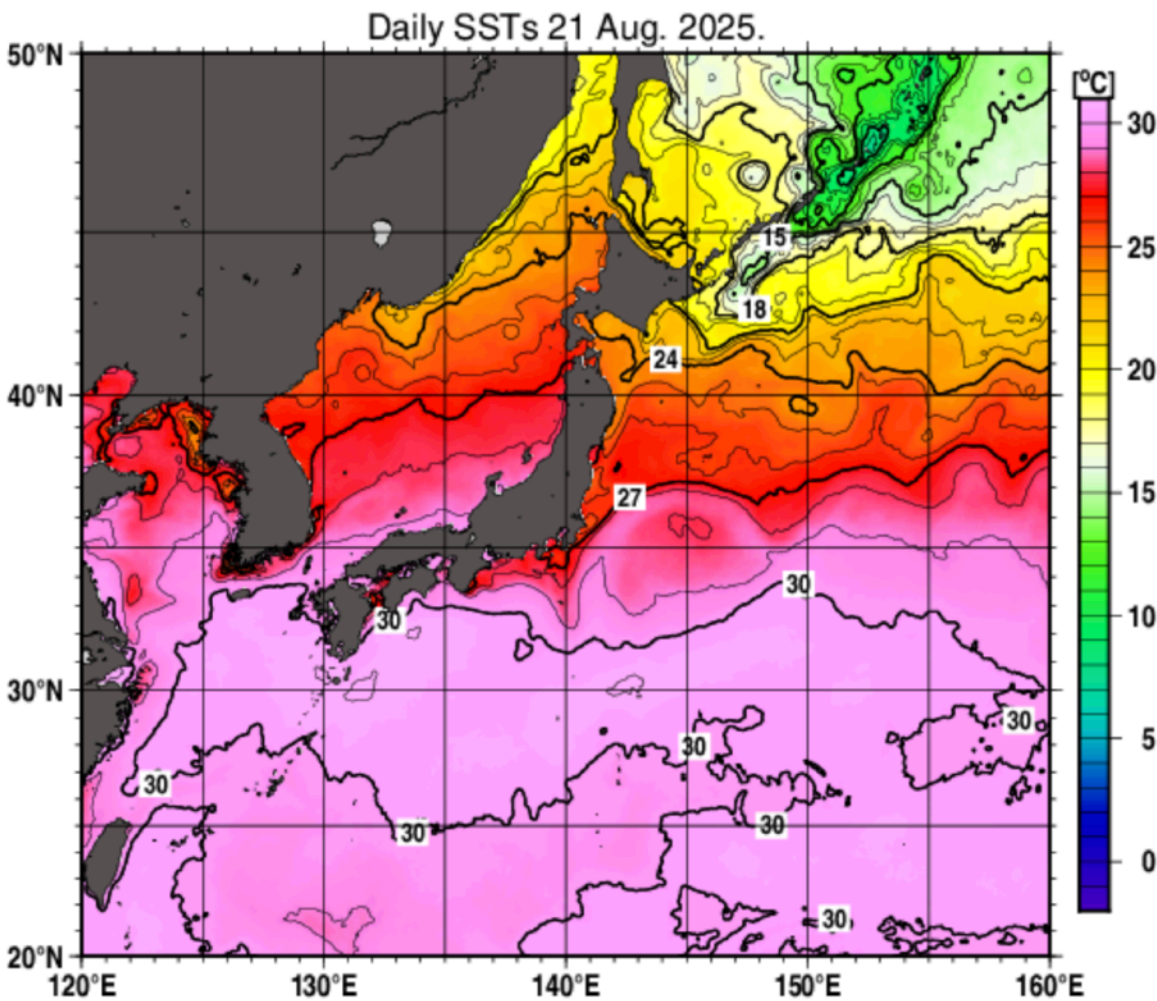
●海面水温

○平年差

他の要素へ

海流 表層水温

気象庁
2025年
8月21日
海水温度



2025年
9月4日

表示

<< < > >>

日本近海 海域

●海面水温

○平年差

他の要素へ

海流 表層水温

気象庁
2025年
9月4日
海水温度

